

**「極めて深刻で残念」**  
富山 県平和運動センター  
など衆院選受け声明

12/17

県平和運動センターと憲法擁護県民連合、原水爆禁止富山県民会議は16日、自公で3分の2を超える議席を獲得した衆院選の結果を受け、「極めて深刻であり、残念な結果」とする声明を出した。

声明では、民主党、社民党に再出発へ向けての真摯な総括を求め、4月の県議選の取り組みを再確立する必要性を指摘。平和、民主主義、脱原発の政策を推進することを訴えている。

12/19

護憲運動の強化確認  
憲法擁護県民連合が総会

憲法擁護県民連合の定期総会は19日、富山市の自治労とやま会館で開かれ、約60人が護憲の運動を強化していく方針を確認した。

代表委員の佐幸明県教組



護憲や脱原発を訴える佐幸明代表委員＝富山市下新町の自治労とやま会館で

9条の護持  
総会で訴え  
憲法擁護県民連合  
県内の労組などでつくる「憲法擁護県民連合」の総会が十九日、

富山市下新町の自治労とやま会館であり、会員ら六十人が憲法九条の護持や脱原発を訴えた。

佐幸明代表委員は、

今回の衆院選の結果に触れて、「自公政権が圧勝した中で、何をすべきか意識して行動しなければならぬ」とあいさつ。非核・平和行進や不戦の誓い集会など、来年度の活動予定を確認した。

会の終わりに「核も基地も原発もない平和で安心して暮らせる社会を実現する」という宣言を採択し、出席者は護憲の思いを新たにした。(杉原雄介)

委員長があいさつし、山崎彰県平和運動センター議長、辻井秀子女性会議長、辻井秀子女性会議長、本部議長が祝辞を述べ、又市征治参院議員の祝電が披露された。

新任の役員は次の各氏。

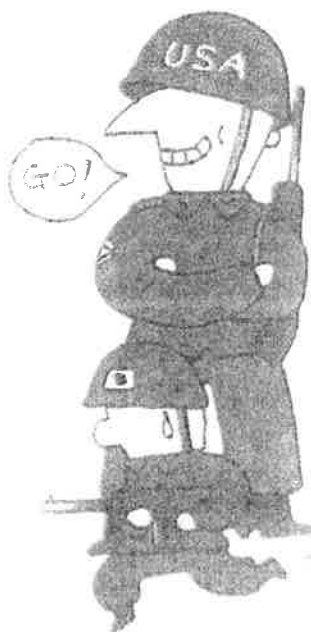
▽事務局次長 神田浩子▽幹事 堅月浩、西能智之、安田勝紀、広川哲也、中沖恒、久野澄子

■2月に憲法フェスタ 憲法擁護県民連合(又市征治、佐幸明両代表委員)の定期総会は19日、富山市の自治労とやま会館であり、来年2月11日に「あり

がとつ9条 憲法フェスタ」を開くなど2015年度の活動内容を決めた。

フェスタは「九条をまもり憲法をいかす県民の会」の総会に合わせ、同会館で開く。5月3日の憲法記念日にキャラバン行動を実施するほか、憲法講演会や非核・平和行進などを予定する。

山崎彰県平和運動センター議長、衆院選富山2区に出馬した東篤社民党県連国民運動推進本部長らが祝辞を述べ、「核も基地も原発もない平和で安心な社会を実現する」とした総会宣言を採択した。12/19北日本



22(月) 憲法フェスタ実行委員会 自治労会館 18:00

25(木) 食とみどり、水県民会 定期総会 自治労会館 15:00